

科目ナンバー	TCP-3-007-ky		科目名	社会科・公民科教育法I		
教員名	矢島 宣弘		開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	高等学校の公民科の授業をどのように展開したらよいのか考えます。最初に高等学校における授業のあり方について、公民科教育の目的や内容から考えます。次に、「現代社会」「倫理」「政治経済」の3科目の指導内容と指導方法について具体例をあげながら考え、公民科を指導する上で必要な基礎的な知識と実践力を身に付けます。					
到達目標	高等学校の公民科授業のあり方についての考察を通して、公民科の教員として必要な教材分析力、学習指導及び授業づくり力、生徒指導力などを養います。					
「共愛12の力」との対応						
識見	自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力	○	伝え合う力		分析し、思考する力
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル
教授法及び課題のフィードバック方法	『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 公民編』を基に、公民科の教科及び各科目の目標、内容等について概観します。また、公民科の授業をどのように行ったらよいのか考え、学習指導案を作成します。そして、最後に実践的な模擬授業を行います。なお、教科指導上の課題解決をするために、グループワーク、ディスカッション、ディベート等を行います。課題やレポート等はMoodle等で提示し、添削後、返却します。					
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修		○
受講条件 前提科目	中学校社会科教員免許の取得を目指す学生は、「社会科・地歴科教育法I」とともに履修してください。高等学校公民科教員免許の取得を目指す学生は履修してください。					
アセスメントポリシー及び評価方法	①受講意欲・態度(2/3以上の受講)20%、②平常点(レポートや学習指導案の内容、模擬授業等)50%、③学期末試験30%を基準に総合的に評価。					
教材	『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 公民編』平成30年7月 文部科学省 高校で使用した「現代社会」の教科書か教育実習先で使用予定の「現代社会」の教科書 ※なお、教科書がない場合は、『最新現代社会 新訂版』(現社315)実教出版を購入すること。					
参考図書	『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』平成29年6月 文部科学省 『教育実習生のための学習指導案作成教本 社会地歴公民科[改定版]』蒼丘書林 ¥1200					
内容・スケジュール						
1週目						
授業学修内容	ガイダンス 授業の概要と進め方について					
授業外学修内容					時間数	
2週目						
授業学修内容	授業とは、教師の役割とは何か。～高校公民科教師に必要な資質・能力を考える。					
授業外学修内容	課題レポート「ニュースの教材化1」				時間数	2
3週目						
授業学修内容	高校公民科授業の現状と課題とは何か。～「改訂の経緯・趣旨」からこれからの公民科授業を考える。					
授業外学修内容					時間数	
4週目						
授業学修内容	公民科で育成する資質・能力は何か。～教科及び各科目の目標を考える。					
授業外学修内容	課題レポート「ニュースの教材化2」				時間数	2
5週目						
授業学修内容	公民科の学習内容を考える。その1 現代社会					
授業外学修内容					時間数	

6週目			
授業学修内容	公民科の学習内容を考える。その2 倫理		
授業外学修内容	課題レポート「ニュースの教材化3」	時間数	2
7週目			
授業学修内容	公民科の学習内容を考える。その3 政治・経済		
授業外学修内容	課題「板書計画の作成」	時間数	4
8週目			
授業学修内容	公民科の授業を組み立てよう。その1 教材研究と教材づくりについて		
授業外学修内容	課題レポート「ニュースの教材化4」	時間数	2
9週目			
授業学修内容	公民科の授業を組み立てよう。その2 授業展開(指導内容の構造化)について		
授業外学修内容	課題「学習指導案の作成1(本時の展開)」	時間数	4
10週目			
授業学修内容	公民科の授業を組み立てよう。その3 目標と評価について		
授業外学修内容	課題レポート「ニュースの教材化5」	時間数	2
11週目			
授業学修内容	公民科の授業を組み立てよう。その4 指導方法の工夫「情報の活用と作業的,体験的な学習」と「言語活動の充実」について		
授業外学修内容	課題「学習指導案の作成2(本時の目標と評価)」	時間数	4
12週目			
授業学修内容	学習指導案をつくろう。その1 教材観、指導方針、指導目標の設定について		
授業外学修内容	課題「学習指導案の作成3」	時間数	4
13週目			
授業学修内容	学習指導案をつくろう。その2 指導計画、評価規準の設定について		
授業外学修内容		時間数	
14週目			
授業学修内容	公民科の授業をしよう。その1 模擬授業実践「現代社会」		
授業外学修内容	課題「模擬授業の評価」	時間数	1
15週目			
授業学修内容	公民科の授業をしよう。その2 模擬授業実践「政治・経済」「倫理」まとめ		
授業外学修内容		時間数	
上記の授業外学修時間の合計		27	
その他に必要な自習時間		63	

Number	TCP-3-007-ky	Subject	Methodologies for Teaching Civics I		
Name	矢島 宣弘 (Yajima Nobuhiro)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	The content of this course is about teaching methods of Civics at senior high schools. And the students will acquire basic knowledge and practical skills necessary for teaching the subject.				